

8. 研究人材育成プログラム

8-1 研究員インターンシップ

研 修 名	平成19年度長崎県研究人材育成プログラム推進事業（インターンシップ）
期 日・場 所	平成19年10月1日～10月12日（西部環境調査株式会社）
内 容	海洋調査に関する基礎知識、海洋調査用機器の操作法の習得ならびに水質、底質、濁度、潮流、海生生物の現地調査を行い、環境証明事業所の業務を体験的に学習した。
職 員 名	研究開発科 高松 宏行

8-2 職員能力開発センター研修等

会 名	職 員 名	期 日（場所）
県研究機関 人材育成セミナー 「失敗しない研究開発の管理のコツ」	兼石 哲也 阿部 久雄 久田松 学	平成19年5月7日 （長崎市・出島交流会館）
ホームページ作成研修	桐山 有司 山口 典男	平成19年5月17日～5月18日 （長崎市・県庁）
政策形成入門研修	河野 将明	平成19年6月5日～6月6日 （長崎市・職員能力開発センター）
指名研修（プロジェクトの進め方とチーム運営研修）	高松 宏行	平成19年6月12日～6月13日 （長崎市・職員能力開発センター）
法令等研修	木須 一正 山口 英次	平成19年7月12日 （長崎市・職員能力開発センター）
人材育成セミナー （民間企業における研究開発動向、他）	振角 俊一 武内 浩一 阿部 久雄	平成19年7月20日 （長崎市・出島交流会館）
パンフレット・広報誌作成研修	桐山 有司	平成19年8月3日 （長崎市・職員能力開発センター）
初級マネジメント研修	秋月 俊彦	平成19年8月21日～8月22日 （長崎市・職員能力開発センター）
第三回法制執務研修	狩野 伸自	平成19年9月14日 （長崎市・職員能力開発センター）
10年目職員研修	秋月 俊彦	平成19年10月29日～10月30日 （長崎市・職業能力開発センター）
徴税業務実地体験研修	山口 典男	平成19年11月26日～11月27日 （佐世保市・佐世保県税事務所）
J D r e a m II（J S T文献検索サービス）操作研修	吉田 英樹	平成20年3月24日 （春日市・クローバープラザ）

8-3 博士・修士号取得支援

(1)

職 員 名	研究開発科 狩野 伸自
期日・場所	平成17年10月1日入学 平成20年9月30日修了予定 九州大学大学院 工学府 物質創造工学専攻 北條研究室
内 容	研究題目「廃シリカ粒子のチタニア被覆と光触媒特性」 本研究では、種々のシリカチタニア系光触媒微粒子と光触媒特性（液相系・気相系の分解効率）の関係を解明して高活性な光触媒微粒子を開発する。

(2)

職 員 名	研究開発科 桐山 有司
期日・場所	平成18年4月1日入学 平成21年3月31日修了予定 九州大学大学院 芸術工学府 芸術工学専攻 福祉人間工学研究室
内 容	研究題目「ユニバーサルデザイン製品開発のための人間工学的評価技術に関する研究」 本研究は、ユニバーサルデザイン製品の開発プロセスに人間工学的評価方法を用いた製品のユーザビリティ評価方法の構築を目的としており、ユニバーサルデザイン製品の開発プロセスについての有効性の検証と構築を行う。

(3)

職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹
期日・場所	平成19年10月1日入学 平成22年9月30日修了予定 九州大学大学院 工学府 物質プロセス工学専攻 梶原研究室
内 容	研究課題「陶磁器の製造プロセス高度化および機能性付与に関する研究」 陶磁器の製造プロセスで特に重要となる成形工程における可塑性予測技術と、陶磁器製品の高付加価値化に寄与する機能性付与技術について研究する。

8-4 依頼研究員長期研修等

(1)

研 修 名	透過型電子顕微鏡法研修
期日・場所	平成19年4月16日～4月20日（九州大学産学連携センター）
内 容	材料の透過電子顕微鏡法による評価技術の研修を行った。
職 員 名	研究開発科 狩野 伸自

(2)

研 修 名	陶磁器と金属箔の接合技術研修
期日・場所	平成19年9月18日～10月19日（新潟大学）
内 容	陽極接合技術を用いた陶磁器と金属箔の低温接合に関する研修を行った。
職 員 名	研究開発科 山口 典男

(3)

研 修 名	ガラス、フリット調整技術研修
期日・場所	平成19年11月12日～11月22日（日本珪瑯釉薬株）
内 容	小・中ロット生産のためのガラス、フリットの調整・調合技術に関する研修を行った。
職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹

(4)

研 修 名	陶磁器製造技術に関わるマイクロ波焼成炉による焼成技術
期日・場所	平19年12月10日～12月21日（福井県工業技術センター窯業指導所）
内 容	マイクロ波焼成炉装置による陶磁器製品の焼成に関する研修を行った。
職 員 名	陶磁器科 河野 将明

8-5 国際学会発表派遣

学 会 名	韓国エコマテリアル・シンポ
期日・場所	平20年1月6日～1月8日（韓国・チャンウォン国際会議場）
目 的	第9回国際シンポジウム（平成19年度研究人材育成プログラム）で学会発表
内 容	「Titania Coating on Wasted Silica Particles in Organic Solvent and Their Photocatalytic Property」の発表を行った。
職 員 名	研究開発科 狩野 伸自

8-6 知的財産基礎研修

研 修 名	知的財産権研修
期日・場所	第1回：平成19年6月12日～6月15日 （東京都・独立行政法人工業所有権情報・研修館）
内 容	知的財産権制度の理解を深め、円滑な運用に資する為、諸制度の知識を習得する。
職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹

8-7 知的財産専門研修

(1)

研 修 名	知的財産権専門員研修
期日・場所	平成19年8月31日（東京都・三会堂ビル9階石垣記念ホール）
内 容	特許・実用新案 明細書作成の留意点～良い明細書と悪い明細書～
職 員 名	研究開発科 阿部 久雄

(2)

研 修 名	知的財産シリーズセミナー
期日・場所	第1回：平成19年9月26日（長崎市・出島交流会館） 第2回：平成19年10月24日（長崎市・出島交流会館） 第3回：平成19年11月28日（佐世保市・佐世保情報産業プラザ）
内 容	第1回 ー企業における特許戦略についてー （㈱石井工作研究所） 第2回 北九州発住宅地帯のパイオニアゼンリンにおける知財戦略について 第3回 ー企業における特許戦略についてー （㈱西部技研）
職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹、河野 将明

9. 所内の定例会議・委員会等

9-1 研究会

(1)

会 名	材料技術研究会
目 的	研究を行う上で必要となる装置機器類に関するスキル向上を目的として、毎週金曜日に実施した。
内 容	「分析・評価関連機器」、「製造プロセス・加工関連機器」、「デザイン・シミュレーション関連機器」に分類し、装置の操作方法や原理などについて、実践形式で行った。
開催回数	30回

(2)

会 名	陶磁器技術研究会
目 的	陶磁器の素材、試験方法などの業務における、職員の能力向上を目的として、毎週月曜日に実施。内容に応じて技術研修を行う。
内 容	平成19年度は、低火度天草陶石を利用して、透光性素地の配合および透光性の評価の検討をおこなった。
開催回数	38回

9-2 金朝会

目的・内容	職員全員が参加、業界動向や技術情報等に関する、様々な情報交換を目的として毎週1回（金曜日）開催する。
開 催 日	毎週金曜日 9:00～10:00（年47回）

9-3 内部委員会

〔目的〕 センターの業務運営を円滑に推進するために、目的別に内部委員会を設け、企画・検討を行うと共に、所員の協力を得ながら必要な作業を実施する

(1)

会名	業務報告編集委員会
目的	窯業技術センターが1年間実施した業務の内容・実績を「業務報告」としてまとめるため、原稿の編集及び調整を行う。
委員名	久田松 学、兼石 哲也、吉田 英樹、狩野 伸自、高松 宏行
開催回数	4回

(2)

会名	研究報告編集委員会
目的	研究資料、歴史的資料、成果の普及・啓発に活用することを目的として、センターが実施した研究の内容・実績をとりまとめ、「研究報告」を年度終了後に編集・発行する。
委員名	秋月 俊彦、阿部 久雄、山口 典男、河野 将明、高松 宏行
開催回数	5回

(3)

会名	広報・一般公開委員会
目的	県民の科学技術に対する関心や理解を深めるため、センターの一般公開を毎年開催している（県立の7試験研究機関で実施）。その他、県民等への情報発信も担当している。
委員名	桐山 有司、吉田 英樹、武内 浩一、小川 修平
開催回数	5回

(4)

会名	見学案内担当委員会
目的	当センターへの見学者受け入れ及び見学への対応・調整を行う。
委員名	村井 利久、久田松 学、秋月 俊彦、高松 宏行
開催回数	10回（随時開催）

(5)

会 名	「KAMA」編集委員会
目 的	窯業技術センターが発行している技術情報誌「KAMA」の企画・編集と年2回の発刊を行う。
委 員 名	桐山 有司、武内 浩一、阿部 久雄、吉田 英樹、河野 将明
開 催 回 数	6回

(6)

会 名	「広報波佐見（窯業技術センターコーナー）」編集委員会
目 的	波佐見町が毎月発行している広報誌「広報波佐見」に掲載している「窯業技術センターコーナー」の企画及び原稿の編集を行う。
委 員 名	桐山 有司、兼石 哲也、久田松 学
開 催 回 数	12回

(7)

会 名	ホームページ編集委員会
目 的	ホームページの構築・更新、掲載データの更新を行う。
委 員 名	山口 典男、武内 浩一、久田松 学、河野 将明
開 催 回 数	36回（データ更新を含む）

(8)

会 名	所内LAN・IMO・県庁LAN管理委員会
目 的	所内LAN及び県庁LANを構成する端末、サーバー、プリンタ、ケーブル等の運用・管理及び障害への対応を行う。
委 員 名	小川 修平、高松 宏行、秋月 俊彦、山口 典男、河野 将明
開 催 回 数	30回（設定、障害対応含む）

(9)

会 名	特許・パトリス・JST管理委員会
目 的	センター職員が職務を遂行するために必要となる技術情報の検索、工業所有権の出願等に関する相談並びにデータベースの管理を行う。
委 員 名	吉田 英樹、阿部 久雄、秋月 俊彦、桐山 有司
開 催 回 数	1回

(10)

会 名	図書委員会
目 的	書籍、学術雑誌、技術雑誌、参考図書、定期購読書などの購入計画、所蔵図書の管理を行う。委員会の委員構成は、各課（科）より1名選出。
委 員 名	村井 利久、河野 将明、狩野 伸自
開 催 回 数	7回

(11)

会 名	展示品管理委員会
目 的	窯業技術センターの変遷や研究成果、企業との共同研究・共同技術開発の成果品及び県内窯業関連企業の商品などを管理、展示し紹介する。
委 員 名	狩野 伸自、兼石 哲也、久田松 学
開 催 回 数	1回

(12)

会 名	エコ推進委員会
目 的	センターにおける県庁エコオフィスプランに基づく温暖化対策を推進する。
委 員 名	村井 利久、狩野 伸自、武内 浩一、秋月 俊彦
開 催 回 数	4回

(13)

会 名	重要物品等機種選定委員会
目 的	センターに導入する機器など重要物品に関し、使用目的や能力など試験研究に最適の機種を選定する。
委 員 名	村井 利久、武内 浩一、振角 俊一、小川 修平、兼石 哲也、阿部 久雄
開 催 回 数	2回

(14)

会 名	安全委員会（危険箇所チェック）
目 的	研究用機器及び施設について利用に関する安全管理及び対策を検討する。
委 員 名	村井 利久、職場委員長、武内 浩一、小林 孝幸、木須 一正、狩野 伸自
開 催 回 数	4回

(15)

会 名	窯業技術センター「今後のあり方」検討会議
目 的	平成14年度に実施した「外部機関評価」の提言をうけて実施してきた「アクションプラン」が見直しの時期に来ており、5年間の実績評価と総括を行い、新たな中期目標とアクションプランを策定する。 また、来年度に始まる「工業系研究機関あり方委員会」に対してしっかりした議論を行うため、本年度中に窯業技術センターとしての考えをまとめておく。
委 員 名	・検討会議：所長、次長（研究企画課長）、総務課長、研究開発科長、陶磁器科長、研究企画課員、知財専門員 ・ワーキンググループ：久田松 学、吉田 英樹、秋月 俊彦、山口 典男
開 催 回 数	・検討会議：3回（12月26日、1月16日、1月23日） ・ワーキンググループ：7回（1/4、1/8、1/10、1/11、1/17、1/21、1/28）

10. 施設見学者数

(1) 見学者数の推移

年 度	19年度	18年度	17年度
件 数 (件)	61	68	62
入場者数 (人)	1,001	927	1,010

(2) 主な見学者・団体

団 体 名	人数(人)	見 学 日
波佐見南小学校	14	平成19年5月16日
長崎県すこやか長寿大学校・佐世保校	50	平成19年5月24日
駆け出し陶芸家塾	13	平成19年7月30日
長崎県立大学	10	平成19年9月21日
長崎県工業技術センター・ベトナム研修員	5	平成19年9月27日
波佐見南小学校	62	平成19年11月8日
東彼杵郡内各町議会議員	49	平成19年11月12日
長崎県議会経済労働委員会	22	平成20年2月1日
福建省経済行政研修生	3	平成20年2月4日
長崎県立大学	20	平成20年2月14日
九州文化学園調理師専修学校	30	平成20年2月22日
九州大学工学部	41	平成20年3月3日

【資料】

長崎県の窯業・土石製品出荷額

平成18年1月～12月

項 目	企 業 数 (社)	従 業 員 数 (人)	出 荷 額 (万円)	出 荷 額 対前年比(%)
ガラス・同製品製造業	4	703	1,453,172	106.3
その他のガラス・同製品製造業	4	703	1,453,172	106.3
セメント・同製品製造業	112	1,438	X	X
生コンクリート製造業	79	982	1,791,815	87.4
コンクリート製品製造業	32	451	567,581	96.6
その他のセメント製品製造業	1	5	X	X
陶磁器・同関連製品製造業	129	1,415	757,153	94.3
食卓用・ちゅう房用陶磁器製造業	85	1,157	644,543	93.2
陶磁器製置物製造業	2	9	X	X
陶磁器製タイル製造業	1	8	X	X
陶磁器絵付業	6	41	23,595	90.0
陶磁器用はい(坏)土製造業	1	6	X	X
その他の陶磁器・同関連製品製造業	34	194	76,826	98.5
耐火物製造業	1	5	X	X
その他の耐火物製造業	1	5	X	X
骨材・石工品等製造業	28	367	479,790	97.7
砕石製造業	8	124	111,819	120.4
石工品製造業	17	114	108,170	86.3
鉱物・土石粉碎等処理業	3	129	259,801	95.1
その他の窯業・土石製品製造業	10	76	41,571	99.3
石綿製品製造業	1	5	X	X
石こう(膏)製品製造業	7	49	26,571	97.2
他に分類されない窯業・土石製品製造業	2	22	X	X
合 計	284	4,004	5,096,241	95.4

※資料は「平成18年長崎県の工業」より従業員4人以上の事業所の出荷額を記載